

現代 GP プロジェクト「アクション・リサーチ型 ESD の開発と推進」

日時：2010年1月12日（火）17：30—19：30

場所：神戸大学大学院人文学研究科 A 棟 1 階 学生ホール

参加費：無料

開会の挨拶

趣旨説明

発表 1

「2009 年度活動報告：ESD 基礎・環境人文学（ESD 論）」

発表者：阪野 祐介（人文学研究科・教育研究補佐員）

発表 2

「公害問題へのアプローチ方法としてのアクションリサーチ」

発表者：宇野 祐（人文学研究科・院生）

コメント：成瀬 尚志（人文学研究科助教）

発表 3

「住民による埋立反対運動から環境保全へ—甲子園浜干潟の場合—」

発表者：庄司 光（文学部・学部生）

コメント：相澤 亮太郎（ボランティア支援室・研究員）

総合討論

「環境人文学（ESD）の可能性」

討論者：長谷川孝治（人文学研究科教授）

松田毅（人文学研究科教授）

油井清光（人文学研究科教授）

（50 音順・敬称略）

閉会の挨拶

神戸大学発達科学部、文学部、経済学部 の 3 学部で進めてきた「アクション・リサーチ型 ESD の開発と推進」は、文部科学省が進める大学教育の充実取組事業のひとつ現代 GP に採択され 3 年目を終えようとしています。これは、持続可能な社会づくりのための教育（ESD）をアクション・リサーチの観点から開発と推進しようとするものです。そして 3 年間の試行期間で、地域や企業などと協働しつつ、ESD の核となる教育プログラムを開発してきた総括として、本シンポジウムはこれまでの文学部での取り組みの報告や今後の環境人文学の可能性や課題について議論を深めようと思い企画いたしました。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ

神戸大学大学院人文学研究科若手研究者室（C163） 078-803-5564 阪野祐介

